

# 愛知大学 3つのポリシー (2021~2023年度)

## ■文学部 日本語日本文学科 (2021年度開設)

<b>教育研究上の目的</b>
学則第1条 (目的) 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。
学則第2条の2 (学部及び学科) 日本語の歴史的成り立ちや特色について学び、それを基点として日本文学や日本語表現学について深く思考することを通じて、日本文化を世界的視野の中で相対化しつつ捉え返すスキルを涵養する。その成果の上に立ち、これから様々な形で直面することとなる日本文化の問題点を敏感に察知し、時に批判的に、時に柔軟に受容していく知性を備えた人材を養成する。
<b>学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)</b>
文学部日本語日本文学科では、これから様々な形で直面することとなる日本文化の問題点を敏感に察知し、時に批判的に、時に柔軟に受容していく知性を備えた人材の育成を目指しています。 日本語日本文学科では、教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー) に従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位 (学士 (文学)) を授与します。「卒業論文」は必修で、自らテーマを決め、先行研究を踏まえた上で仮説を立て、史資料を通して分析、実証することで、オリジナリティを有する結論を導き出します。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで評価します。 学生が学位の取得を目指して科目の履修及び修得を積み重ねることで、以下の能力を身につけることを教育目標とします。 (1) 問題を発見し、テーマを見つける能力 (2) 調査をする能力 (3) 資料・データを解釈・分析する能力 (4) ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し表現する能力 (5) 自分の考えをプレゼンテーションする能力、質問や批判に答え他者と対話する能力
<b>教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)</b>
文学部日本語日本文学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) で示す人材育成の実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成・実施しています。 (1) コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の分野による共通教育科目を設けます。 (2) 1年次生の専門教育科目では、学部必修科目として全員が履修する「文学部総合研究」により文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡すことで日本語日本文学を専攻する学生としての広い視野を得ます。それに加えて日本語日本文学科の導入科目として「入門講義 (日本語日本文学)」および「入門演習 (日本語日本文学)」が必修となっています。また、人文社会科学各コースの「入門講義」(2科目選択可) および「入門演習」(1科目選択可) を学部選択必修科目として設け、関心のある文学部の他の専攻の学問領域に触れる機会が提供されています。2年次以降の主要な専門教育科目として、日本語日本文学を基礎から応用に至るまで体系的に学ぶための演習などの学科必修科目と講義などの学科選択科目を履修します。 講義・演習・実習等の授業形態と、少人数教育・アクティブラーニング・PBLなどの多様な教育方法を組み合わせて実施することで、学術分野の特徴を活かした教育課程の展開と自発的な学修の促進を図ります。
<b>入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)</b>
文学部日本語日本文学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) で示す人材を育成します。こうした観点から文学部日本語日本文学科では、求める学生像を次のように考えています。 《求める学生像》 (1) [一般選抜] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができています。 [学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。 (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。 (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていこうとする意志を有する人。